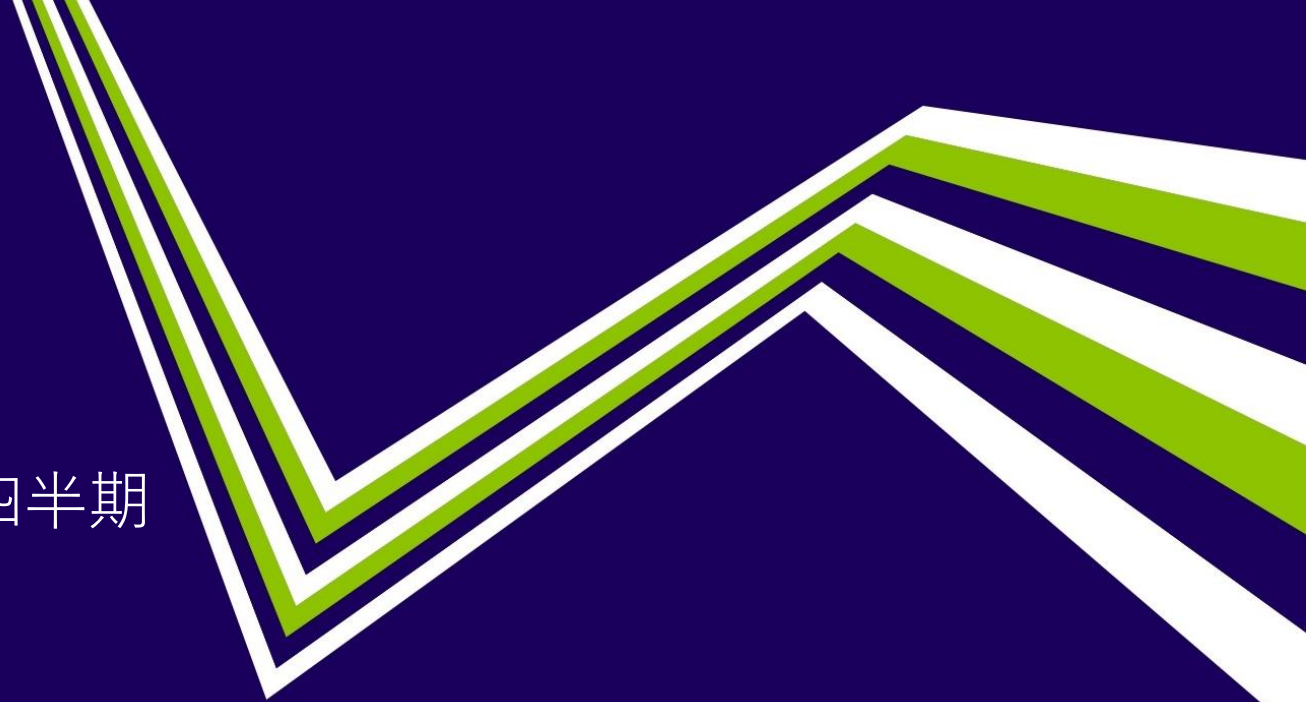




2024年12月期第1四半期 決算説明会資料

2024年5月13日

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
経営企画部 IR推進室

1. 2024年12月期第1四半期決算	P.4～
2. 2024年12月期 業績予想	P.14～
3. 経営計画2028 取り組み状況	P.20～
4. 株主還元	P.26～

2024年12月期第1四半期決算 エクゼクティブサマリー

2024年12月期 第1四半期実績

	実績	前年同期比
➡ 売上収益	6,176 億円	+395 億円 +6.8 %
➡ 連結セグメント利益 (事業利益)	118 億円	△90 億円 △43.4 %
事業利益率	1.9%	
➡ 営業利益	34 億円	△208 億円 △85.7%
➡ 親会社の所有者 に帰属する当期利益	8 億円	△124 億円 △93.8 %

* ➡ は+5%以上の増加、➡ は-5%以上の減少、➡ は変化が±5%未満

- ✓CP社がグループに加わったことによる増収の一方、フォワーディング事業は需給緩和に伴う単位あたり粗利の低下がみられる中、増収に対して増益効果は小さかった
- ✓国内物流は、自動車産業関連等、一部の産業、顧客の取り扱いで増加が見られるものの、全体的な荷動き回復には至らず、低調な推移となった
- ✓なお当期において、特別積合事業の統合に伴う減損損失65億円を計上した（営業利益以下の各利益に影響）

2024年12月期業績予想 エクゼクティブサマリー

2024年12月期 業績予想

	今回予想	前年比
➡売上収益	25,000 億円	+2,609 億円 +11.7 %
➡連結セグメント利益 (事業利益)	850 億円	+37 億円 +4.6 %
事業利益率	3.4%	
➡営業利益	820 億円	+219 億円 +36.4 %
➡親会社の所有者 に帰属する当期利益	550 億円	+179 億円 +48.4 %
ROE	6.7%	+1.9 pt
ROIC (税引前事業利益)	5.6%	± 0.0 pt

* ➡ は +5%以上の増加、➡ は -5%以上の減少、➡ は変化が±5%未満

✓物流需要は総じて低調な推移だが、国内外の物流需要について、年後半以降に回復するという期首の見立てから変更はなく、2月14日に公表した業績予想の売上収益および事業利益以下の各利益を据え置いた

1. 2024年12月期第1四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A. 2024年12月期第1四半期決算 概要	P.5-
B.売上収益・営業利益増減内訳	P.7-
C. 第1四半期対前第4四半期	P.9-
D.航空フォーワーディング粗利益動向	P.11-
E.海上フォーワーディング粗利益動向	P.13

1-A. 2024年12月期第1四半期決算 概要（1-3月）

（単位：億円、％）（億円未満切捨て）

項目	今期実績	前年実績	増減額	増減率
売上収益	6,176	5,780	395	6.8
連結セグメント利益 （事業利益）	118	209	△90	△43.4
事業利益率	1.9	3.6	-	-
営業利益	34	243	△208	△85.7
親会社の所有者に帰属する 当期利益	8	133	△124	△93.8

【参考】 cargo-partner1－3月実績(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益588億円、事業利益1億円

1-A. 2024年12月期第1四半期決算 概要（1-3月）

（単位：億円、％）（億円未満切捨て）

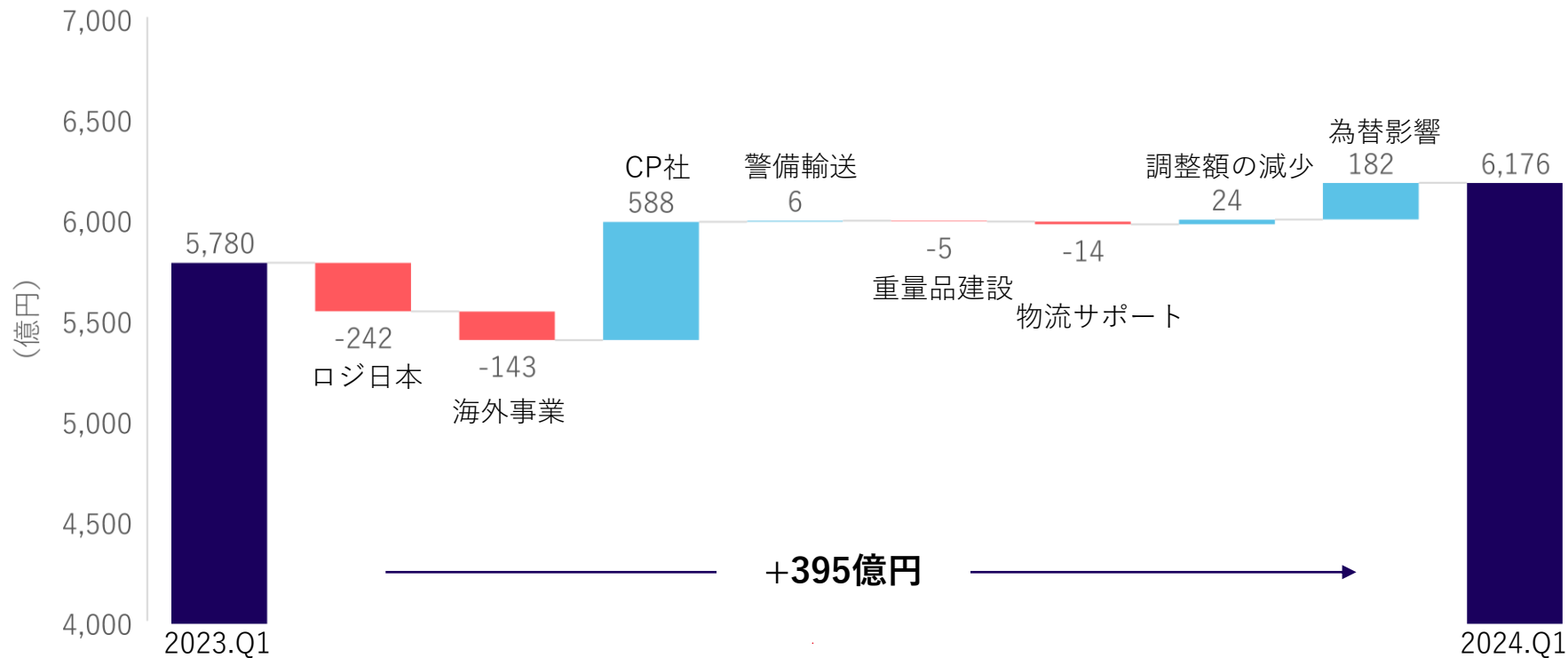
セグメント	項目	今期実績	前年実績	増減額	増減率
日本	売上収益	3,054	3,297	△242	△7.4
	セグメント利益（事業利益）	63	113	△49	△44.0
米州	売上収益	370	371	△1	△0.4
	セグメント利益（事業利益）	10	28	△17	△62.6
欧州	売上収益	1,129	449	679	151.0
	セグメント利益（事業利益）	31	21	9	46.4
東アジア	売上収益	373	391	△18	△4.7
	セグメント利益（事業利益）	4	15	△10	△70.5
南アジア・オセアニア	売上収益	347	379	△32	△8.5
	セグメント利益（事業利益）	10	30	△20	△66.7
警備輸送	売上収益	176	169	6	3.9
	セグメント利益（事業利益）	13	12	0	6.5
重量品建設	売上収益	106	111	△5	△5.1
	セグメント利益（事業利益）	7	8	△1	△13.7
物流サポート	売上収益	1,079	1,094	△14	△1.3
	セグメント利益（事業利益）	24	32	△8	△26.0

【参考】 cargo-partner1-3月実績(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益588億円、事業利益1億円

1-B.売上収益・営業利益増減内訳

売上収益

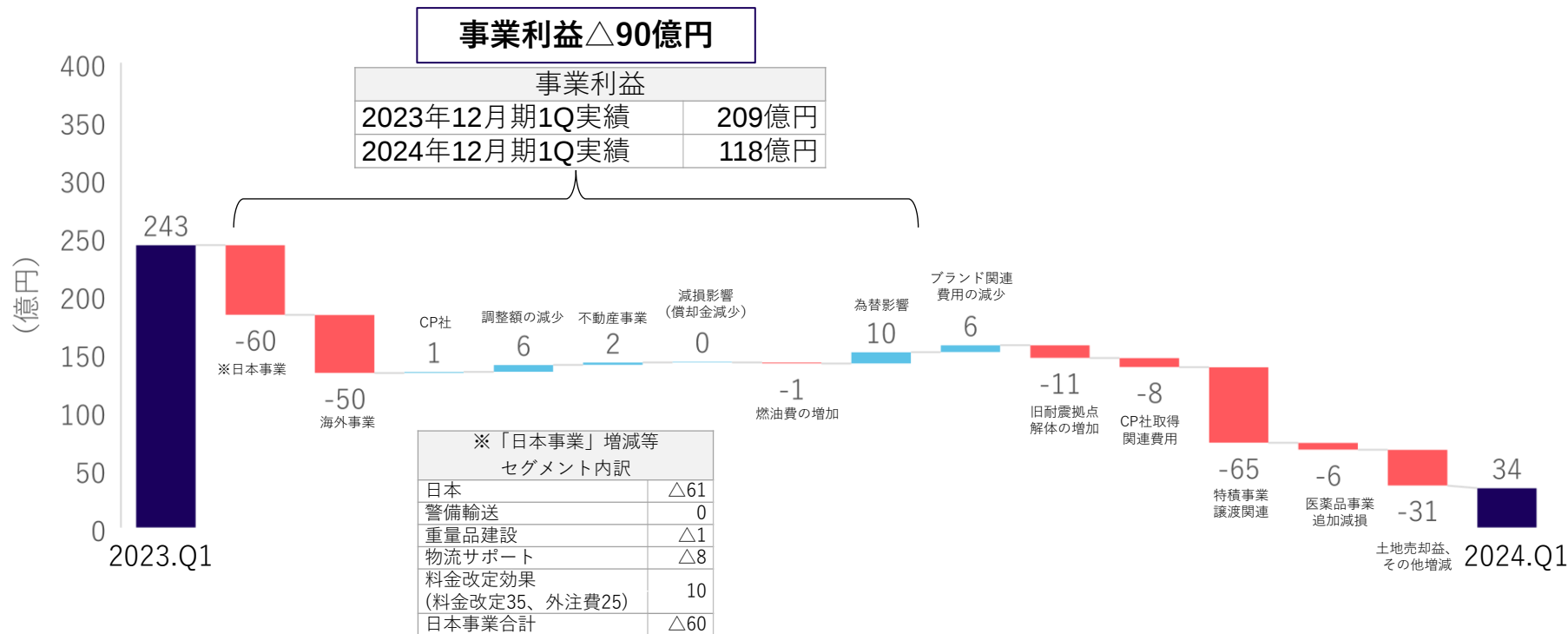
✓ CP社の連結化および円安による増収が大きい一方、ロジスティクス事業は減収が継続。



1-B.売上収益・営業利益増減内訳

営業利益

- ✓ 国際FWD事業の単位あたり粗利の低下等により、ロジ事業は日本・海外ともに減益。
- ✓ なお当期において、特積事業の譲渡に伴う減損損失（65億円）を計上。



1-C. 2024年12月期第1四半期決算 第1四半期対前第4四半期

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	今期実績	2023年4Q単 実績	増減額	増減率
売上収益	6,176	5,636	539	9.6
連結セグメント利益 (事業利益)	118	208	△90	△43.2
事業利益率	1.9	3.7	-	-
営業利益	34	86	△51	△59.9
親会社の所有者に帰属する 当期利益	8	65	△57	△87.4

1-C. 2024年12月期第1四半期決算 第1四半期対前第4四半期（セグメント別）

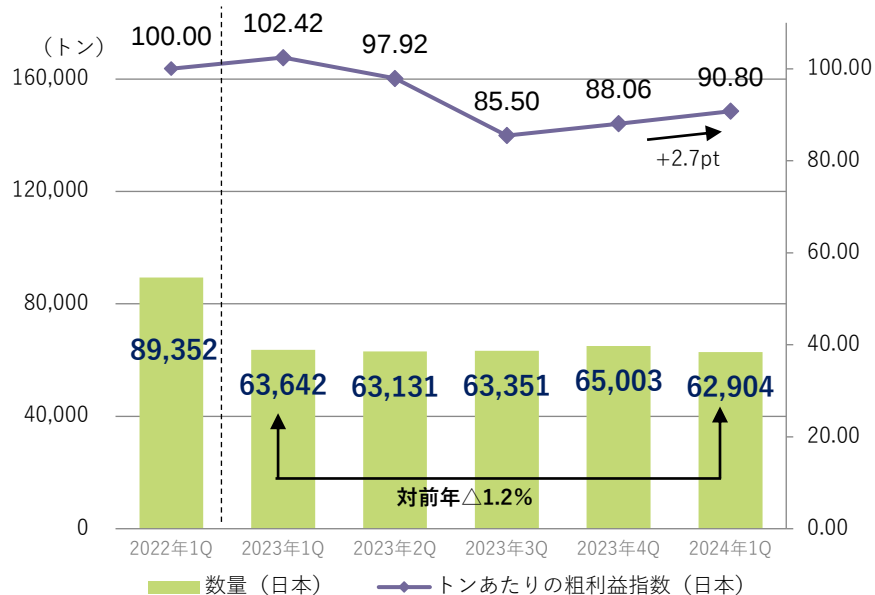
（単位：億円、％）（億円未満切捨て）

セグメント	項目	今期 1 Q実績	2023年 4 Q単 実績	増減額	増減率
日本	売上収益	3,054	3,132	△77	△2.5
	セグメント利益（事業利益）	63	156	△93	△59.6
米州	売上収益	370	386	△16	△4.3
	セグメント利益（事業利益）	10	18	△8	△43.6
欧州	売上収益	1,129	515	614	119.2
	セグメント利益（事業利益）	31	23	8	35.8
東アジア	売上収益	373	425	△51	△12.1
	セグメント利益（事業利益）	4	5	△1	△20.0
南アジア・オセアニア	売上収益	347	345	1	0.5
	セグメント利益（事業利益）	10	13	△3	△27.8
海外セグメント合計	売上収益	2,220	1,672	547	32.8
	セグメント利益（事業利益）	56	61	△4	△7.9
警備輸送	売上収益	176	170	5	3.0
	セグメント利益（事業利益）	13	2	10	393.7
重量品建設	売上収益	106	112	△6	△5.6
	セグメント利益（事業利益）	7	15	△7	△50.7
物流サポート	売上収益	1,079	1,149	△69	△6.0
	セグメント利益（事業利益）	24	41	△17	△42.5

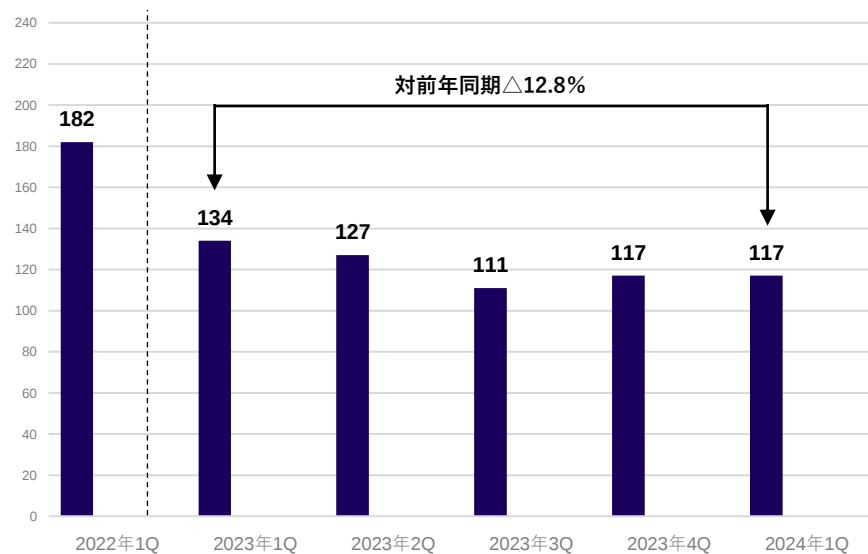
1-D.航空フォワーディング粗利益動向 日本セグメント

✓ 需要に対するスペースコントロールの強化や燃油サーチャージの低下により、トンあたりの差益は2.7ポイント改善

航空輸出数量と単位あたりの粗利益推移



航空フォワーディング粗利益額 単位：億円



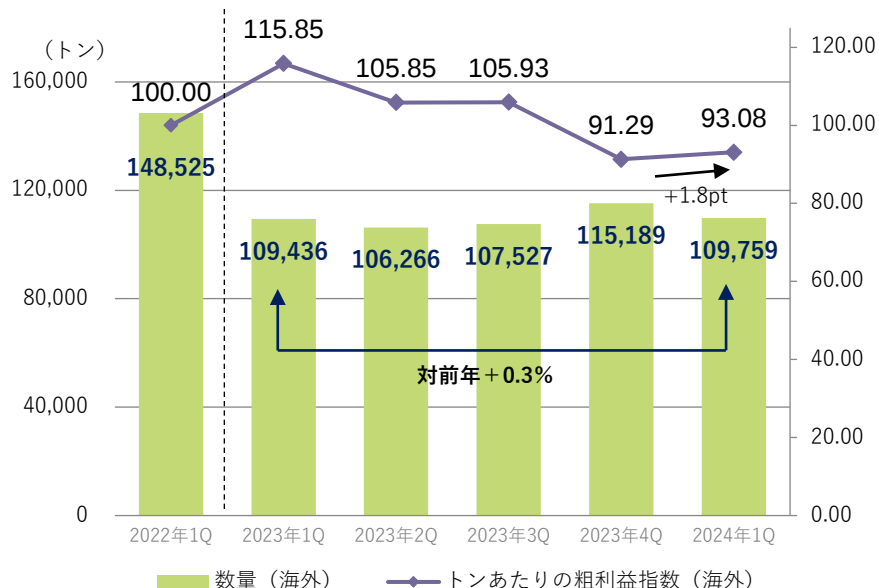
※航空フォワーディング粗利益額：「航空輸出売上高」から「航空利用費（国際）」を除いた額

※ 2022年第1四半期のトンあたりの粗利益額を100として、各四半期の推移を表した数値。（2022年第1四半期からのトレンドは補足資料19ページに掲載）

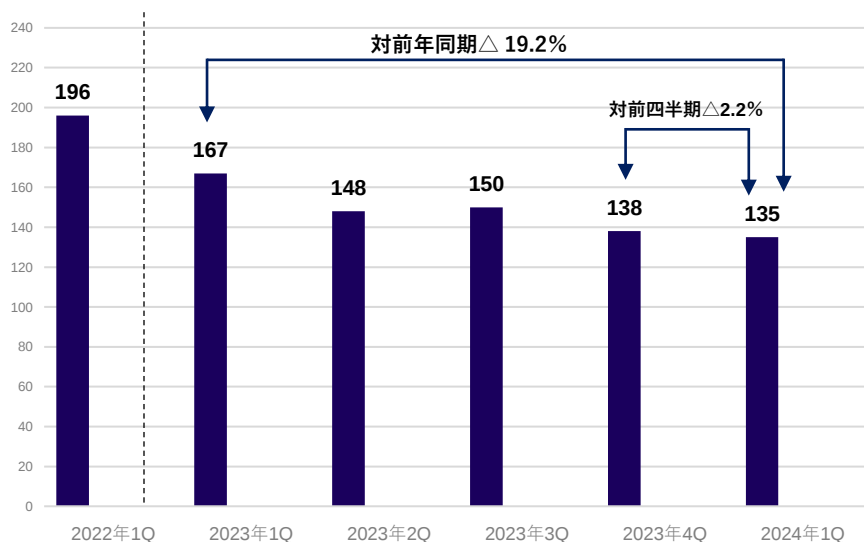
1-D.航空フォワーディング粗利益動向 海外セグメント

✓ スペースコントロールの強化等により東アジアは前年4Qから改善し、全体のトンあたりの粗利は1.8ポイント改善

航空輸出数量と単位あたりの粗利益推移



航空フォワーディング粗利益額 単位：億円



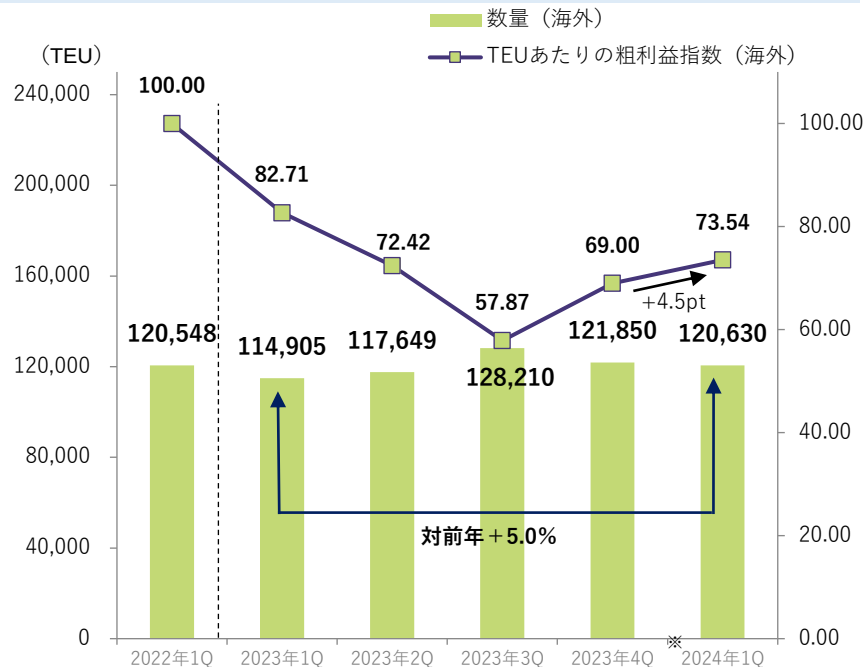
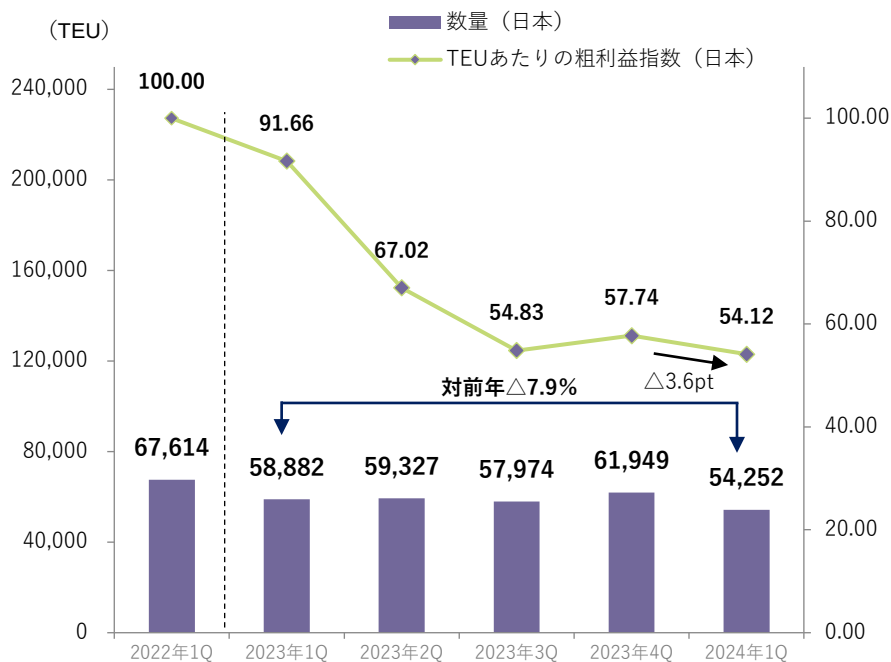
※航空フォワーディング粗利益額：「航空輸出売上高」から「航空利用費（国際）」を除いた額

※ 2022年第1四半期のトンあたりの粗利益額を100として、各四半期の推移を表した数値。（2022年第1四半期からのトレンドは補足資料19ページに掲載）

※各四半期の平均為替レートで円貨に換算し計算。 ※cargo-partner社の実績は除いて計算。

1-E.海上フォワーディング粗利益動向 日本／海外

- ✓ 運河の航行制限等からPSS(Peak Season Surcharge)が適用され、その転嫁に一部タイムラグが生じた影響等から日本発のTEUあたり粗利は3.6ポイント低下
- ✓ 運賃上昇トレンドの中、海外発のTEUあたり粗利は4.5ポイント上昇



※ 2022年第1四半期のTEUあたりの粗利益額を100として、各四半期の推移を表した数値。(2022年第1四半期からのトレンドは補足資料19ページに掲載) ※2024年第1四半期より日本発海上フォワーディング数量のカウント方法を変更しています。
※海外セグメント計は各四半期の平均為替レートで円貨に換算し計算。 ※数量はNVOCC以外の取扱いも含む。 ※cargo-partner社の実績は除いて計算。

1. 2024年12月期第1四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A.2024年12月期業績予想	P.15
B. 2024年12月期業績予想（セグメント別）	P.16-
C.売上収益・営業利益増減内訳	P.18-

2-A. 2024年12月期業績予想 通期予想

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

項目	1 Q実績	2 Q予想	上期予想	下期予想	通期予想	前年 通期実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
売上収益	6,176	5,823	12,000	13,000	25,000	22,390	2,609	11.7
セグメント利益 (事業利益)	118	231	350	500	850	812	37	4.6
事業利益率	1.9	4.0	2.9	3.8	3.4	3.6	-	-
営業利益	35	305	340	480	820	600	219	36.4
親会社の所有者に帰する 当期利益	8	221	230	320	550	370	179	48.4
海外売上収益	2,220	2,119	4,340	4,620	8,960	6,424	2,535	39.5
ROE	-	-	-	-	6.7	4.8	-	-
ROIC (税引前事業利益)	-	-	-	-	5.6	5.6	-	-

【参考】 cargo-partner通期予想(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益2,210億円、事業利益15億円（無形資産償却（約30億円、4 Q計上予定）を除く）

2-B. 2024年12月期業績予想 セグメント別

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

セグメント	項目	通期予想	前年実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	前回予想 (2/14時点)	増減額 (前回比)	増減率 (前回比)
日本	売上収益	12,130	12,565	△435	△3.5	12,330	△200	△1.6
	セグメント利益 (事業利益)	510	485	24	5.0	520	△10	△1.9
米州	売上収益	1,530	1,512	17	1.1	1,530	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	80	92	△12	△13.6	85	△5	△5.9
欧州	売上収益	4,320	1,926	2,393	124.2	4,190	130	3.1
	セグメント利益 (事業利益)	100	98	1	1.5	90	10	11.1
東アジア	売上収益	1,610	1,576	33	2.1	1,610	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	50	37	12	32.9	55	△5	△9.1
南アジア・オセアニア	売上収益	1,500	1,408	91	6.5	1,500	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	80	83	△3	△4.2	85	△5	△5.9
警備輸送	売上収益	680	678	1	0.2	680	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	30	33	△3	△11.4	30	-	-
重量品建設	売上収益	500	511	△11	△2.2	500	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	60	65	△5	△8.0	60	-	-
物流サポート	売上収益	4,450	4,258	191	4.5	4,450	-	-
	セグメント利益 (事業利益)	130	138	△8	△6.1	130	-	-

【参考】 cargo-partner通期予想(欧州内数、連結決算処理前の数値)：売上収益2,210億円、事業利益15億円
(無形資産償却(約30億円、4 Q計上予定)を除く)

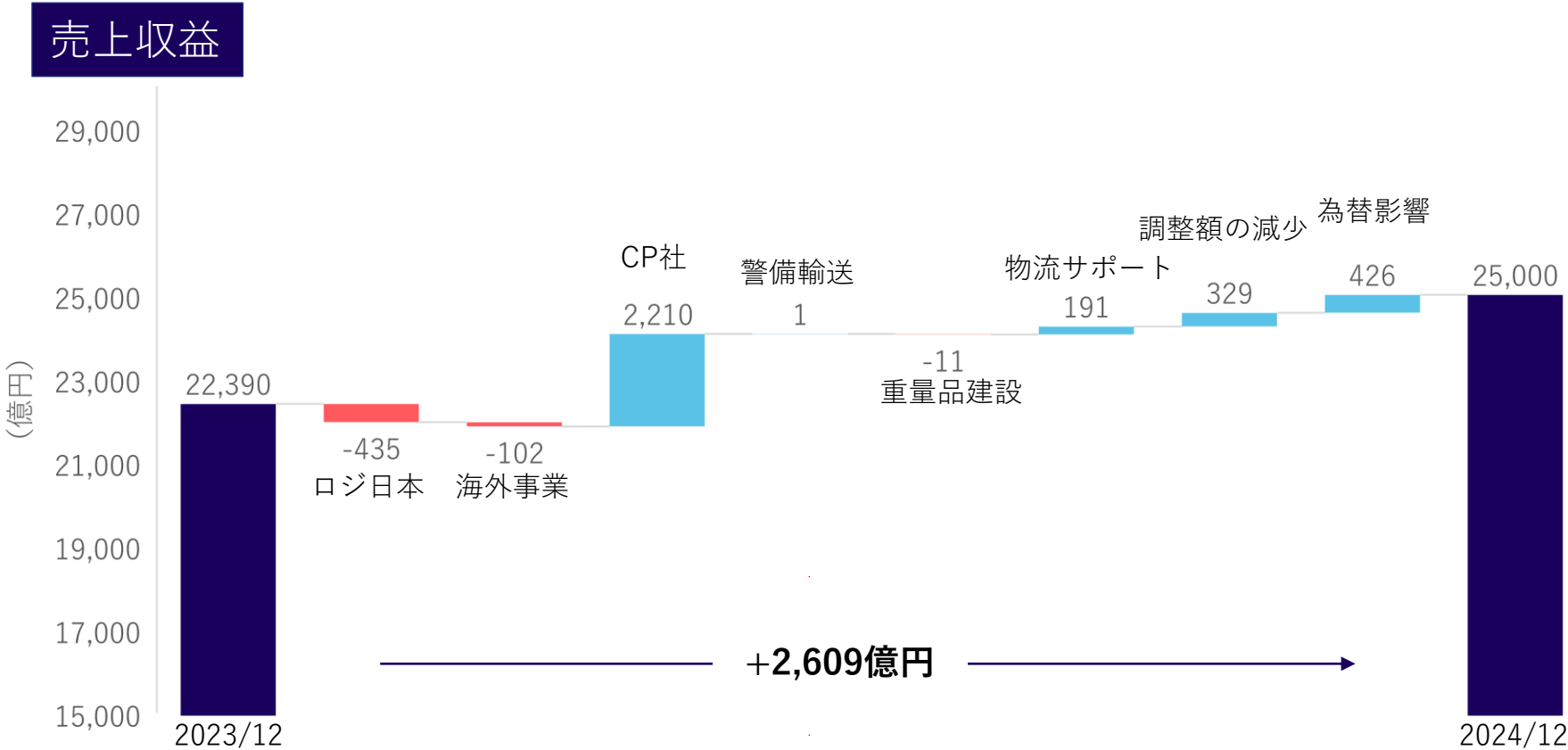
2-B. 2024年12月期業績予想 セグメント別 上期／下期

(単位：億円、%) (億円未満切捨て)

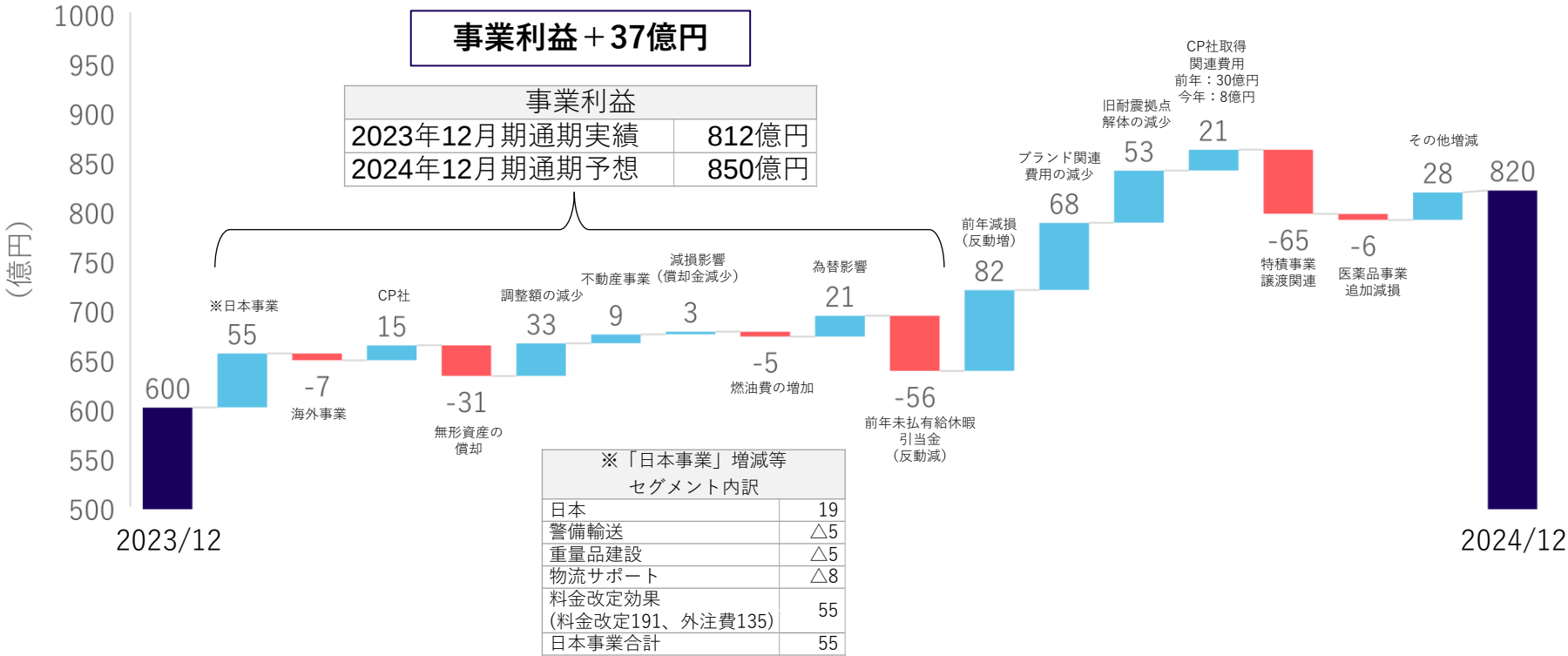
セグメント	項目	1Q実績	2Q予想	上期予想	前年 上期実績	増減額 (前年比)	下期予想	前年 下期実績	増減額 (前年比)
日本	売上収益	3,054	2,875	5,930	6,402	△472	6,200	6,163	36
	セグメント利益 (事業利益)	63	126	190	231	△41	320	253	66
米州	売上収益	370	379	750	740	9	780	772	7
	セグメント利益 (事業利益)	10	24	35	52	△17	45	39	5
欧州	売上収益	1,129	1,000	2,130	943	1,186	2,190	982	1,207
	セグメント利益 (事業利益)	31	33	65	49	15	35	49	△14
東アジア	売上収益	373	376	750	773	△23	860	802	57
	セグメント利益 (事業利益)	4	15	20	25	△5	30	11	18
南アジア・ オセアニア	売上収益	347	362	710	719	△9	790	688	101
	セグメント利益 (事業利益)	10	19	30	49	△19	50	34	15
警備輸送	売上収益	176	163	340	338	1	340	340	△0
	セグメント利益 (事業利益)	13	1	15	17	△2	15	16	△1
重量品建設	売上収益	106	123	230	258	△28	270	252	17
	セグメント利益 (事業利益)	7	17	25	30	△5	35	35	△0
物流サポート	売上収益	1,079	1,120	2,200	2,090	109	2,250	2,167	82
	セグメント利益 (事業利益)	24	45	70	65	4	60	73	△13

【参考】 cargo-partner通期予想(欧州内数、連結決算処理前の数値)

上期：売上収益1,123億円、事業利益6億円 下期：売上収益1,087億円、事業利益9億円
(無形資産償却(約30億円、4Q計上予定)を除く)



営業利益



1. 2024年12月期第1四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

A.経営計画2028基本方針	P.21
B.グローバル事業の成長：重点産業	P.22
C.グローバル事業の成長：主なKPI・施策	P.23
D.グローバル事業の成長：海外リージョンの主な取り組み	P.24
E.日本事業の再構築	P.25

3-A.経営計画2028 基本方針

経営計画2028における基本方針・重要戦略

基本 方針

- グループ全体最適志向の下、グローバルな競争力の向上と事業の成長を実現する。
- 明確な事業ポートフォリオと役割分担のもと、事業の競争力・収益性を高め、企業価値を高める。
- 社会課題解決や持続可能社会の実現へ貢献するサステナビリティ経営を実践し、顧客・社会・株主・社員から選ばれる企業グループへ変革する。

売上 収益

FY2023 22,390億円
FY2028 30,000億円

事業 利益

FY2023 812億円
FY2028 1,500億円

ROE

FY2023 4.8%
FY2028 10%以上

グローバル市場での
事業成長の加速

日本事業の再構築

海外 売上

FY2023 5,855億円
FY2028 12,000億円
M&A 3,700億円

サステナビリティ
経営の推進

事業 利益率

FY2023 3.9%
FY2028 5.9%
(ロジスティクス日本)

3-B.グローバル事業の成長 重点産業

(億円未満切捨て)

重点産業	2024年 1月～3月 実績	2024年目標	対目標進捗率	2028年目標
テクノロジー 基盤領域：電機電子 成長、挑戦領域：産業用機械	716 億円	3,295 億円	21.7 %	4,000 億円
モビリティ 基盤領域：自動車 成長、挑戦領域：建機、農機、鉄道、航空機	628 億円	2,260 億円	27.8 %	2,600 億円
ライフスタイル 基盤領域：アパレル 成長、挑戦領域：家具、装飾品、コスメティクス	351 億円	1,295 億円	27.1 %	1,600 億円
ヘルスケア 成長、挑戦領域：医薬品、医療機器	245 億円	945 億円	25.9 %	1,300 億円
半導体 成長、挑戦領域：半導体	127 億円	516 億円	24.6 %	1,000 億円

※実績：日本通運(株)、海外4リージョン合計（CP社、Tramo社は除く）

3-C. グローバル事業の成長 主なKPI・施策

フォワーディングの拡販	2024年 1月～3月実績	2023年 1月～3月実績	前年対比増減率	2028年目標
航空フォワーディング数量	21.5万 t	17.3万 t	24.4%	130万 t
海運フォワーディング数量	21.5万TEU	17.3万TEU	24.2%	140万TEU

(内数) cargo-partner社	2024年 1月～3月実績	2023年 1月～3月実績 (参考値)	前年対比増減率
航空フォワーディング数量	4.2万 t	2.9万 t	43.0%
海運フォワーディング数量	4.0万TEU	4.0万TEU	2.3%

(億円未満切捨て)

ロジスティクスソリューションの提供強化	2024年 1月～3月実績	2023年 1月～3月実績	前年対比増減率	2028年目標
倉庫・配送等売上	1,135億円	1,107億円	2.6%	5,900億円

※倉庫配送等売上にはCP社は含まない。

3-D.グローバル事業の成長 海外リージョンの主な取り組み

cargo-partner社へのPMI実行

N Xグループ東欧事業のけん引役としての地位確立

- ・ グループシナジーの創出
- ・ 既存・新規グローバル顧客の拡大
- ・ 欧・中・米拠点の機能統合によるコスト低減

インド市場での存在感の確立

新たなリージョンとしてのインド亜大陸の可能性

- ・ インド経済の成長を捉えたインド国内ロジスティクス事業体制の拡充
- ・ インドを起点としたグローバルサプライチェーンの取込
- ・ 「インド亜大陸」のグローバルロジスティクス機能の強化
- ・ インド発の中東・アフリカ向けトレードレーンの戦略的な拡大・強化

欧州リージョン

- ・ 中東・アフリカ・北欧・東欧事業の拡大
- ・ 被買収会社のPMI実行
- ・ トランスアトランティックレーンのフォワーディング事業の拡大
- ・ イタリアを発信基地としたライフスタイル関連ロジスティクス事業の拡大

東アジアリージョン

- ・ 自動車産業におけるフォワーディング取扱数量の拡大
- ・ 半導体・ヘルスケア産業におけるコントラクトロジスティクスビジネスの拡大
- ・ アセアンへの生産拠点の移転や、グローバルブランドとして海外進出を図る中国系企業の取込み

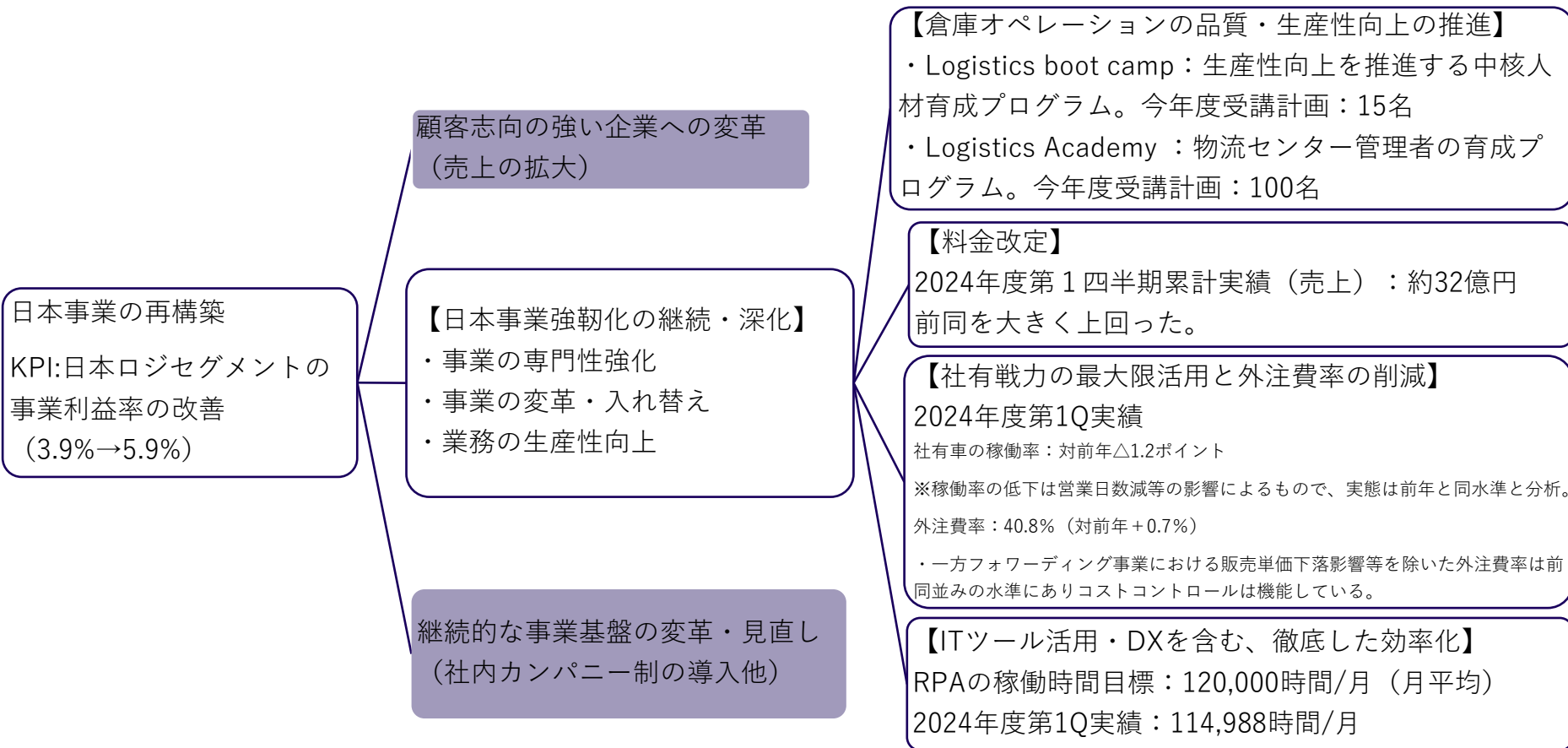
南アジア・オセアニアリージョン

- ・ インド亜大陸および環インド洋での事業拡大
- ・ 欧米向け、アジア域内トレードレーンのフォワーディング取扱数量の拡大
- ・ チャイナプラスワンの動きへの対応など域内各国の市場成長をとらえた倉庫・トラック事業拡大

米州リージョン

- ・ トランスアトランティック、ラテンアメリカレーンのフォワーディング事業拡大
- ・ 米国内・クロスボーダートラック輸送事業の拡大
- ・ 自動車・医薬品産業におけるコントラクトロジスティクスの拡販

3-E. 日本事業の再構築



1. 2024年12月期第1四半期決算
2. 2024年12月期 業績予想
3. 経営計画2028 取り組み状況
4. 株主還元

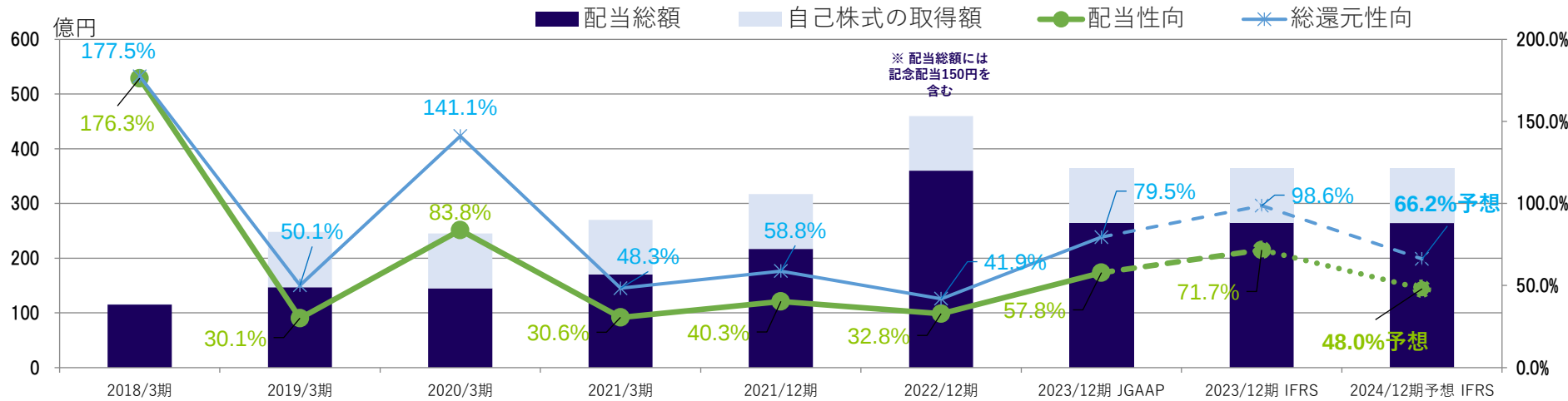
資本政策、各種実績推移

P.27

4. 資本政策・各種実績推移

経営計画2028
目標数値

- ROE 10%以上
- 総還元性向 55%以上（2024～2028年度累計）
- 配当性向 40%以上
- 自己資本比率 35%程度



1株あたり配当額（年間）	120※	155	155	185	240	400 （記念配当150円含む）	300	300
ROE	1.2 （日本基準）	9.2 （日本基準）	3.2 （日本基準）	10.0 （日本基準）	8.9 （日本基準）	15.9 （日本基準）	5.9/4.8 （日本基準/IFRS）	6.8 （IFRS基準）

※ IFRS基準でのROEと日本基準の差異は、IFRSでは有価証券売却益がPL非計上となることが主な要因です。

※ 2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしましたので、2018年3月期以降の配当額については、当該株式併合を考慮した金額で記載しております。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。